

市政について 問う！

第七回（十一月）定例会では、二十二人の議員が市政について質問しました。

一般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
植松 恭一	鉄道高架事業、東駿河湾環状道路西区分、副市長及び職員人事	4
久保田吉光	(仮称) ららぽーと沼津、新市民体育館、新東名スマートIC	4
尾藤 正弘	こども医療費等手続の一本化、香貫地域の水環境の保全	5
霞 恵介	沼津の教育と子供たちの姿	5
深田 昇	古墳と道路の両立	5
梶 泰久	広域行政、合併問題、中核市への取り組み、産業振興	5
原 信也	平成 29 年度の予算編成	6
加藤 元章	水産業振興、企業誘致、鉄道高架事業、南北自由通路、下水道事業	6
加藤 明子	公民連携推進のまちづくり、世界一元気な沼津	6
小澤 隆	廃棄物処理、国際交流	6
高橋 達也	市内公共交通のあり方、大型商業施設の進出に対する考え方	7
渡邊 博夫	人口動向分析と将来展望、地域創生、いじめ対策、小中一貫教育	7
城内 務	高架PIプロジェクト、障害者差別解消法、社会福祉士の登用	7
片岡 章一	こども医療費、保育料軽減、大学誘致、障害者スポーツ	7
長田 吉信	生涯学習における図書館の充実、防災・減災対策	8
江本 浩二	新中間処理施設（ごみ処理施設）整備	8
殿岡 修	新貨物ターミナル予定地用地買収の中止要請、最終処分場	8
山下富美子	財政の見える化、意思決定の透明性と説明責任、自然環境保全	8
梅沢 弘	鉄道高架事業における民意・財政・正当性・費用対効果の検証	9
中田 孝幸	選挙結果と市民の思い、市民参加と情報公開、鉄道高架事業の検証	9
川口 三男	世界一元気な沼津を目指す市長のビジョン	9
水口 淳	戸田地域の課題、ロシアとの姉妹都市提携、市長の選挙公約	9

(仮称) ららぽーと沼津に対する認識は

問 (仮称) ららぽーと沼津の事業推進に向けた市長の認識は。

答 市長 / これまで多くの市民と接する中で、(仮称) ららぽーと沼津についてもさまざまな意見を聞いたが、その多くは沼津の活力につながるという期待の声であった。私としても、交流人口の拡大や雇用の確保につながるものと考えており、あわせて市域全体の情報発信や防災対策の強化などに資するものと期待している。このため、今後も平成三十一年秋の開業を目指すスケジュールにのっとり、円滑な調整が進むよう、事業者と連携して取り組んでいく。



▲中心市街地への影響が議論された(仮称) ららぽーと沼津建設予定地

一方で、大型商業施設が中心市街地に与える影響についても、十分に市民の声を聞き、市として、それを解決できる手段があるかどうか市民と一緒に真剣に考えていきたい。

久保田 吉光

東駿河湾環状道路西区分の整備推進を

問 東駿河湾環状道路西区分の整備推進に対する認識は。

答 市長 / 東駿河湾環状道路は、国道一号の慢性的な交通渋滞の緩和への期待とともに、富士市を含む県東部や伊豆地域全体の経済活動に寄与し、防災面においても非常に重要な道路と考えている。西区分における、岡宮から愛鷹の区間の事業化までには、関係者の大変な苦労があったと聞いている。西区分がさらに原一本松まで開通することにより、交通利便性の向上による産業振興等にも大きく寄与することから、愛鷹以西の区間についても、早期事業化を要望

していきたいと考えている。

問 東駿河湾環状道路を利用した市北西部の発展に対する考えは。

答 市長 / 東駿河湾環状道路の開通による高速道路へのアクセス時間の短縮や、物流における定時性の確保等の交通利便性の向上がもたらす効果を広くアピールする等、企業立地の推進について取り組んでいきたいと考えている。



▲慢性的な交通渋滞が続く国道1号

植松 恭一